

第 35 回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日	時	令和元年 5 月 2 4 日（金） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
場	所	八王子市保健所別館 1 階会議室
議	事	議 事 案内サイン整備計画(案)について 令和元年度の予算(案)について 打越町旭ヶ丘団地乗合タクシーの運行について 報 告 事 項 (1) 平成 30 年度の事業報告について (2) 令和元年度の事業について (3) はちバス事業の報告について (4) 事業者からの報告（各事業者） (5) 立地適正化計画について そ の 他
●会長挨拶 地方部では、バスもタクシーも大変なドライバー不足に悩まされている。その中で、土日の運行について、利用実態に合わせた運行の検討をしている自治体が多くある。 土休日の利用は、平日の 6 割程度の場合が多いが、少なくとも利用者がいる中で、土日の運行を完全に取りやめるのは難しい面があるが、群馬県のように土日にほとんどの路線バスが走っていない地域の例もある。 山口市では、地域内の交通について、住民が主体となって運営をするコミュニティタクシーを運行しており、元々土休日は運休にしていたが、今年のゴールデンウィークの 10 連休は、これまで通りの運行を行うと、10 日間移動手段が無い人が出てきてしまうことから、議論の結果 5 月 2 日のみ臨時便で運行した。このように単純に土休日を運休と決めるのでは、対応しきれない場合があることも分かった。 限られた資源をいかに適切に配分し、交通を確保していくかということについては、様々な面から考えなければならない。 ●議事 - 案内サイン整備計画(案)について - 令和元年度の予算(案)について 【事務局説明】 - 案内サイン整備計画(案)、及び令和元年度の予算(案)について、事務局より一括で説明を行った。 【主な意見、質疑】 特に無し 【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 - 打越町旭ヶ丘団地乗合タクシーの運行について 【事務局説明】 - 打越町旭ヶ丘団地乗合タクシーの運行について、事務局より説明を行った。 【主な意見、質疑】 (委員) - 北野駅北口から乗る場合、どのタクシーに乗ってもいいのか？		

⇒（事務局）

- ・ 北野駅北口に乗り入れている京王自動車さんと、八南交通さんの車両であれば、どの車両でも乗車できる。

（委員）

- ・ 運行ルートについて、前回の活性化協議会で要望した内容が反映されていてありがたい。
- ・ 運賃が北野駅からは 200 円、団地からは 300 円ということだが、通常のタクシーが使用しているメーターはどうするのか？

⇒（事務局）

今回は、団地住民とタクシー事業者間の契約になるが、1 運行の金額を定額で決める為、運行時にメーターは使用しない。

（委員）

- ・ 今回の運行は、上下で異なる運賃を設定とするということだが、バスの運賃は公平に設定することが原則となっている中で、上下が別の運賃はこれまで認められなかったように記憶しているが、参考として全国にこのような事例があるのか、また、協議運賃で決められるということもあるかもしれないが許認可上問題ないのかを教えてほしい。

⇒（事務局）

- ・ 国土交通省様へ相談しながら検討を行っているところである。

⇒（委員）

- ・ 八王子市から相談を受けた際には、北野駅から団地中央へのルートと、団地中央から北野駅北口へのルートの距離が異なり、距離の違いを運賃に当てはめると、行きと帰りで若干変わってくると聞いた。地域の方もそのことを納得しているのであれば、この場で承認いただけるのであれば問題ない考える。

⇒（委員）

- ・ 乗合バスの運行で、駅前へ入るときは迂回しなければ入れないなど、上下で距離が変わる場合でも同一運賃という原則がある中で、以前認められなかったことがあったが、今回の旭ヶ丘団地のような事例があるのであれば、今後前向きに検討していきたい。

（委員）

- ・ 団地から乗る際のタクシー会社への連絡方法について、高齢の方が電話で呼ぶのが難しい場合も考えられると思うが、何かよい方法はないか？
- ・ 市の補助は、運行経費の 1/2 以内となるが、今回は通常運行しているタクシーを利用するので、運行経費は運賃ということになるのか？

⇒（事務局）

- ・ 団地の皆さんとの検討の中では、団地からの連絡方法は、団地中央にある電話ボックスを使用する方向で進めているが、高齢者の方も多いのでどのような方法がよいか今後議論していきたい。また、事前の説明会で丁寧に説明していきたいと考えている。
- ・ 運行経費は、今回は定額運賃のような運行になるので、1 日最大 14 便の内、1 日何便運行したかで運行経費が決まる。その運行経費の半分以上を市が補助する、単価契約となる。

⇒（委員）

- ・ タクシーの呼び方については、例えばポケベルを団地に備え付け、押すだけでタクシー会社に連絡できるような、できるだけ簡単な方法を検討してほしい。

⇒（事務局）

- ・ 今後、団地の皆さんと検討していきたい。

(会長)

- ・ 高齢者が電話をするときの話が出たが、団地中央からタクシー会社へ電話をするときに何を伝えればいいのかを周知する必要がある。電話連絡時の分かりやすいフォーマットを作成し、その流れに沿って伝えるようにするといい。電話ボックスにも掲示するのも一つの方法である。
- ・ 旭ヶ丘団地の乗合タクシーであることの目印は、車体に表示するのか？

⇒ (事務局)

- ・ 現在、団地の皆さんと、タクシーのフロントガラスに表示することや、会員証を作成することなど、通常のタクシー利用と区別ができるような方法について、検討しているところである。

(委員)

- ・ 単価契約とのことだが、単価は通常のタクシーとは全く異なる運賃なのか？
- ・ 団地は、タクシー事業者へ支払うお金をどのように集めるのか？

⇒ (事務局)

- ・ 単価は、既存の料金に基づいて算出する方法を予定している。
- ・ 今回、乗客が運賃を支払い、団地は、運行経費から運賃収入を除いた金額をタクシー事業者を支払うことになる。

⇒ (委員)

- ・ 各戸からの徴収は、自治会費から支払うことになるのか？

⇒ (事務局)

- ・ 今回は、運賃と市の補助金のみで運行したいと考えているが、それだけでは足りない場合、団地から自治会費等で負担していただくことも考えられる。

(委員)

- ・ 前回の試行運行では、運行時刻が決まっており 1 日 14 便だったが、今回は 2 人以上集まったら運行するというので、北駅発が 9 回程度、団地発が 5 回程度となっているが、これ以上便数が増えても 9 時から 17 時 40 分の間の運行であれば可能ということか？

⇒ (事務局)

- ・ 北駅発が 1 日 9 回、団地発が 1 日 5 回の待ち合わせ時間を決めて、最大 14 便運行する予定で、決められた時間以外は運行しない。

(委員)

- ・ 今回、この取り組みがうまくいったら他の交通に困っている地域への導入も検討していく予定か？

⇒ (事務局)

- ・ 地域交通事業は、交通空白地域において、地域の皆さんが主体となって運営する交通に対して、市が補助を行う事業である。他の交通空白地域からも、ご相談があれば、説明に伺うことは可能である。

(委員)

- ・ 旭ヶ丘団地の乗合タクシーの運行については、八王子市タクシー合同運営委員会の中でも、北野駅の稼働台数が最も多い八南交通さんと京王自動車さんが運行の意思を示された。他のタクシー会社にも意向を確認しているが、2 社以外は見合わせたいということだった。
- ・ シルバーパスは使えるのか？

⇒ (事務局)

- ・ シルバーパス、I C カード、回数券は不可である。

【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

●報告事項

①平成 30 年度の事業報告について

②令和元年度の事業について

【事務局説明】

- ・平成 30 年度の事業報告、及び令和元年度の事業について事務局より一括で説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・今年度の運行から、小学校経由の運行をしており、この実現に当たっては小学校にもご協力いただいて実現した。親御さんからも子供たちの安全が確保され、とてもありがたいという声を頂いている。

昨年度までは、学校の敷地外にあった学童保育が今年度から学校敷地内に移ったこともあり、学童保育から下校する子どもたちもそのままバスに乗れるので、安全度が増し、ご協力いただいた皆さんに感謝している。

③平成 30 年度 はちバスの事業報告について

【事務局説明】

平成 30 年度はちバスの事業報告について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・年度別収支率が年々減少しているが、収支を改善する策を検討しているのか？

⇒(事務局)

- ・平成 29 年度にはちバス分科会を設置し、北西部コースの分割と、運行時刻の見直しを行うことを決定し既に実施しているが、中長期的な課題として、収支の課題は残っているので、活性化協議会などを通じて引き続き検討していきたい。

(会長)

- ・この収支率の低下は、シルバーパス利用者の増加が影響しているのか？

⇒(事務局)

- ・年々、シルバーパス利用者の割合が増えてきているので、収支率にも影響していると考え。

(会長)

- ・本来、東京都のシルバーパス制度は、コミュニティバスは対象外の為、八王子市のようにコミュニティバスにシルバーパスを摘要させる場合、そのすべてを市が負担することになる。この為、シルバーパス乗車の割合が増えれば増えるほど市の負担は大きくなる。シルバーパスがそのような制度であり、市がシルバーパス乗車分を負担しているということを市民に知ってもらう必要がある。それも含めて、どのようにして収支率を改善していくか考える必要がある。

④事業者からの報告（各事業者）

【事業者説明】

- ・京王電鉄バス、西東京バスより、資料に基づき報告事項の説明を行った。
- ・八王子市タクシー合同営業運営委員会より、口頭で報告事項の説明を行った。

多摩地域のタクシーで、10 月の消費税増税に合わせたタクシー運賃の改定に向けて、関東運輸局に申請を行った。多摩地域の車両台数の 70%以上の業者の申請があれば関東運輸局が審査を

する、流れになっているが、実際には 93%の申請があったため、関東運輸局が検討を進めているところである。

改訂の内容は、各社でばらつきはあるが、例えば八王子交通の場合、現在 730 円/2km のところ、500 円/1.2km、2 km 以上になると現在より若干高くなるような料金で申請している。

秋頃には、予定が見えてくるのではないかと考えている。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・ 病院、市役所等行き便数が減るとするのは、若干であってもこれから高齢化や運転免許返納が進む中で、バスが重要な交通手段になる中で、困る人も多いと思うので配慮してもらえないか。

⇒ (委員)

- ・ ダイヤ改正については、利用状況を十分に精査し、お客様が不便にならないよう行っている。
- ・ 学校、病院、市役所行きについては、特に利用者も多い為、そのような方が不便にならないような改正にしている。今回の減便についても、多少ご不便をおかけするお客様が出てしまうが、十分利用いただける状況だと考えている。今後も利用状況等を見ながら精査していく。

⇒ (会長)

- ・ 今回の様に、系統ごとに表すと、大きく減ったように感じるかもしれないが、複数の系統が運行しているルートの場合、それほど大きな削減ではない場合もあるので、今後説明の際には、そのような補足も付け加えるようお願いします。

(委員)

- ・ バス停の設置位置について、地先の了解が得られないという理由で、適正ではない場所に設置され利用しにくいバス停があるが、行政の力で強制的に設置できないのか？

⇒ (事務局)

- ・ はちバスのバス停の設定の際には、地域の了解と交通の安全性を考慮して決定している。
- ・ 行政は強制的に行うことはできないので、地域の皆さまも地先の方へ説得していただくことに協力いただきたいと考えている。市も地域も互いに手を取り合って、より良い運行にしていきたい。

⑤立地適正化計画について

【事務局説明】

立地適正化計画について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・ 八王子市は自然環境に恵まれ、人口も多くモデル地区になれると思うが、そうなるためにも歩行者や自転車の交通の安全の確保が必要だと考える。

例として、自分の住んでいる北野台には通過道路になっていて、歩行者や自転車の通行が危険で通行できない道路がある。

基本的に移動は、バスや電車、自転車等の公共交通を利用するようにして、自動車の交通を制限する必要があるのではないかと。道路の構造や、交通規制(速度制限)等の制限も含めて、検討していただきより住みやすいまちにしてほしい。

⇒ (委員)

- ・ ゾーン 30 などの話にも関連すると思うが、交通管理者、道路管理者等との協議も必要となるので、本日の意見を参考に今後進めていきたい。

(委員)

- ・ 立地適正化計画で示されている将来の都市構造を実現させるためには、公共交通の利便性向上を図り、拠点間の移動のしやすさや、アクセスの強化を図ることが必要と考える。
一方で、運転手不足などの現状を考慮すると、単純にサービス水準を上げることは、なかなか難しい状況である。
既存のサービス水準を維持しつつ、路線バス、はちバス、タクシーなどの公共交通機関が連携して、効率的で利便性の高い交通体系の構築に向けて、立地適正化計画の策定をきっかけに、改めて何が必要か、この活性化協議会の場において、議論していきたい。

(委員)

- ・ 本日の資料を事前に送付いただいて、資料を読み込んできて、本日の説明を聞いたが理解できない。誰が聞いてもわかるような説明をしながら、進めていただきたい。

⇒ (会長)

- ・ 前回も、何をしていきたいのかが分からないというご意見があった。市民に対して今後どのようにプレゼンをしていくかが重要になる。

⇒ (事務局)

- ・ 全国的にも比較的新しい計画で、難しい言葉がたくさん出てくることがもあり、今回はイラストをできるだけ入れて分かりやすくしたが、まだ分かりにくいというご意見を頂いたので、今後9月～10月にパブリックコメントを実施するのにあたり、改めて地域に説明していくので、それまでには市民の皆さまにもっとわかりやすい資料の作成に気を付けていきたいと考える。

●その他

(委員)

- ・ 消費税増税に伴う運賃の改定について、はちバスは予定しているのか。

⇒ (事務局)

- ・ はちバスは、消費税増税のタイミングで運賃の改定は行わない。

(委員)

- ・ 八王子障害者団体連絡協議会より、資料に基づき説明を行った。

(会長)

- ・ 利便性を高める意味合いと、投資に対してどのように対応するかということについて、今後、情報を注視しながら推移を確認していきたいと考える。

(委員)

- ・ 西東京バスでは、M a a Sについて研究を進めている。
M a a Sとは、マイカー以外の全ての交通手段に関する移動サービスについて提供する手段であり、西東京バス1社でどうにかなることではないが、研究について今後ご報告させていただく機会を頂くかもしれないので、よろしくお願いいたします。

⇒ (会長)

- ・ 八王子市は、M a a Sを考えていくのに一つのまとまった地域として丁度いいのかもしれない。

●今後のスケジュールについて

- ・ 次回の「地域公共交通活性化協議会本会議」については、日程や場所等はまだ決まっていないため、決まり次第別途通知する。

以上